



## ～日本の健康・世界の健康～

### どうしてジェイソンは病院にいるの？

名古屋市立大学看護学研究科 国際保健看護学 教授 樋口 倫代

「どうしてジェイソンは病院にいるの？」とはじまる物語が、カナダ政府の公式ウェブサイトで紹介されています。

物語はまず「それはね、彼の足にひどい化膿があるからだよ。」と答えています。もちろん、話はそこで終わりません。「だけど、どうしてジェイソンの足にはひどい化膿があるの？」とさらに尋ね、「それはね、ジェイソンが足を切っちゃって、そこから感染したんだよ。」とさらに答えます。このあたりまでは病院にいる理由として、ふつうに思いつく内容でしょう。しかし、物語は「だけど、どうして彼は足を切っちゃったの？」と「だけど、どうして？」が続きます。

「だけど、どうして彼は足を切っちゃったの？それはね、彼がアパートの隣のがらくた置き場で遊んでいたら、足を滑らせた先に、尖ったギザギザの金属があったからなんだよ。」

「だけど、どうして彼はそこで遊んでいたの？それはね、彼の近所はちょっと荒廃した地域なんだ。多くの子供はそういった場所で遊ぶし、だれも子どもたちを監督していない。」

「だけど、どうして彼はそんな地域にいるの？それはね、ジェイソンの両親がよりよい場所に住む余裕がないからさ。」

「だけど、どうして彼の両親はより良い場所に住む余裕がないの？それはね、彼のお父さんは仕事がなく、お母さんは病気だからね。」

「だけど、どうして彼のお父さんは失業中なの？それはね、彼のお父さんは十分な教育を受けていなくて、それで仕事が見つからない。」

「だけど、それはどうして、、、？（筆者翻訳）」

このページのタイトルは「何がカナダ人を健康もしくは不健康にするのか？」です。それに直接答える前に「健康レベルを決定づける、こみいった一連の要因や状況」についてわかりやすく説明する話として、ジェイソンの物語を紹介しているのです。

ページタイトルの質問に対しては、以下の12の答えを挙げています。

1. 収入と社会的身分、2. 社会的支援ネットワーク、3. 教育と識字、4. 雇用/労働条件、5. 社会的環境、6. 物理的環境、7. 個人的な健康習慣と対処能力、8. 健康的な子どもの発達、9. 生物的、遺伝的素質、10. 保健サービス、11. 性、12. 文化

これらの要因や状況の多くは社会的なものです。カナダは、1974年に当時の保健大臣の名前で発表された報告書の中で、健康を決定付けているのは生物学的要因だけではないということの世界に先駆けて宣言し、それを政策に取り入れてきた国として知られています。ジェイソンが病院にいる原因は、住居、収入、仕事、教育につながっていますが、そのよう

な話が国民に向けて紹介されているのもお国柄かもしれません。

健康を決定付けている社会的要因への関心は、1980年代以降少しずつ高まってきたようです。英国でも、健康格差は拡大しており、その大きな要因は貧困であるという報告書を、保健社会保障省が1980年に公表しました。1986年にはWHOがヘルスプロモーション（健康づくり）という概念を打ち出し、定義しましたが、その文書には健康のための前提条件が8つ挙げられています。これらの中には住居、教育、収入といった個人的な社会要因、さらには持続可能な資源や社会正義と公正といったマクロの社会的要因が含まれています。

重要なことは、健康と社会の関係についての指摘は、思想や理想だけではなく「科学的根拠」にもとづいているということです。科学的根拠があるとは、適切な方法で行われた研究に導かれた知見があるという意味です。1998年、2003年にはWHO欧州地域事務所が「確かな事実」という、それまでの知見を集めた報告書を出しました。この中で確かな事実として、つまり科学的根拠をもって、健康を決定付けていると考えられる要因として、社会格差など10の事項を挙げています。さらにWHOは「健康の社会的決定要因に関する委員会」を設置し、世界中の研究結果とそれに拠る提言をまとめました。

2008年に公表されたその報告書によると、その最重要提言の1つめは「日常生活の状況、つまり人々が生まれ、成長し、生活して、働き、老いていく環境を改善する。」、そして2つめは「権限、資金、資源、つまり日常生活状況を形成する構造的な推進力となるものの不公平な分配に対処する。」となっています。健康に関するWHOの報告書での提言が、科学的根拠にもとづいた上で「不公平な分配」に言及しているのです。

私は、学生に健康の社会的決定要因について講義する際、1988年に公開されたアニメ映画「火垂るの墓」も併せて引用しています。今の学生たちが生まれる前の映画ですが、多くの学生が1度はテレビで観たことがあるようです。この映画の中で4歳の妹、節子が先に亡くなります。節子の直接の死因は下痢と考えられ、また、かなりひどい栄養失調状態だったことがうかがわれます。でも、どうして節子が栄養失調となり下痢を患うようになったのか？突き詰めていくと戦争に行き着きます。つまり、戦争も健康の社会的決定要因です。実は、先に紹介した「健康のための前提条件」で最初に挙げられているのは「平和」なのです。

しかし、このようなことを話していくと「自分には何ができるのか？」というコメントが必ず出ます。むしろ無力感を感じさせてしまうこともあるようです。それについては、次回書こうと思います。